

フルミスト点鼻液（経鼻弱毒生インフルエンザワクチン）の接種を受ける方へ

任意接種用

汐見台クリニック

フルミストは、鼻から接種するインフルエンザワクチンです。接種を受ける前に、ワクチンの効果や副反応、注意事項などについて、よくお読みください。ご不明な点がある場合は、接種前に医師にご相談ください。

1. フルミストとは

- フルミストは、鼻からスプレーするタイプのインフルエンザワクチンです。
- 生きた弱毒のインフルエンザウイルスを用いたワクチンで、鼻の粘膜で増えることで、体の中に自然に近い免疫をつくります。
- 注射の必要がなく、左右の鼻にそれぞれ0.1mLずつ、合計0.2mLを1回だけ噴霧します。
- 対象年齢は、2歳以上19歳未満です。
- 接種後、約2～4週間でインフルエンザに対する免疫が付き、発症の予防や、発症した場合の重症化を防ぐ効果が期待されます。

接種の方法

合計0.2mLを1回、左右の鼻にそれぞれ0.1mLずつ噴霧します。



専用の噴霧器で鼻の中に噴霧します。
(痛みはありません)

2. ワクチンの効果と副反応

効果	● インフルエンザの発症を予防する効果が期待されます。 ● たとえ発症しても、重症化を防ぐ効果が期待されます。
主な副反応	● 比較的良好にみられる症状：鼻閉、鼻漏、くしゃみ、咳、のどの痛み、頭痛、発熱 など（多くは軽度で、数日以内に自然に治まります）。 ● まれにみられる重い副反応：ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、けいれん、血小板減少性紫斑病 など。 ※ 接種後に異常な症状があらわれた場合は、すぐに医療機関にご連絡ください。

3. 予防接種を受けることができない方（接種不適当者）

- 明らかな発熱（通常37.5℃以上）がある方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- フルミストの成分（鶏卵、ゼラチン、抗生物質など）により、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- 明らかな免疫機能の異常がある方、または免疫抑制状態にある方（免疫抑制剤の使用、先天性免疫不全、HIV感染症 など）
- 妊娠していることが明らかな方
- その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

4. 接種にあたり、医師と相談していただく方（接種要注意者）

- ゼラチン、鶏卵、その他のワクチン成分に対して、アレルギーのある方
- ぜんそく、慢性の呼吸器疾患（気管支喘息など）がある方、または過去に喘鳴の既往がある方
- 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気、神経の病気、けいれんの既往がある方
- 免疫機能の異常のある方や、その家族に先天性免疫不全症の方がいる方
- 近親者に1年以内に重いアレルギー（アナフィラキシーなど）を起こした方がいる方
- 現在、他のワクチンを接種する予定がある方
- その他、治療中の病気がある方、または現在お薬を使用している方

5. 接種後の注意事項

- 接種後、30分程度は院内で様子をみてください。
- 接種当日は、激しい運動を避け、体調の変化に注意してください。
- 接種後に、鼻水、鼻づまり、咳、発熱、のどの痛みなどの症状がみられることがありますが、多くは軽く、数日で自然に治まります。
- まれに重い副反応が起こることがあります。呼吸が苦しい、強い発疹、意識がおかしい、けいれんなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関にご連絡ください。
- 他の人への感染の可能性は極めて低いとされていますが、接種後しばらくは、重い免疫不全の方との密接な接触は避けてください。

6. 健康被害救済について

予防接種により、まれに健康被害（病気になったり、障害が残ったりすること）が生じることがあります。この場合、予防接種法に基づく救済制度（医療費・障害年金など）が受けられます。申請方法など、詳しくは医師にお問い合わせください。

安全に接種するため、現在の体調・持病・服用中のお薬について正確にお知らせください。